

高次脳機能障害支援ツールII：お薬情報



目的：内服薬の名前や種類・量などを記入（または添付）することで薬に関心を高めるツール
薬の処方内容や処方日を家族や支援者と共有するツール

こんな症状の方におすすめ



- 何の薬を飲んでいるか知らない。
- 何のための内服薬か知らない。
- 処方薬の変更が多いと間違えてしまう。
- 残薬があるのに毎回処方を多くもらってしまう。

活用のメリット



- 薬の知識が深まった。
- 病気や薬についての関心が高まった。
- 薬の変更があっても間違えなくなった。
- 薬の残薬調整ができた。

支援のPoint!!



- 病院受診後に内服薬の情報を整理して記入しておきましょう。
- 定時薬と屯用薬を分けて記入しましょう。
- ご本人が記入するようにしましょう。それが難しい場合はご家族や支援者がお手伝いしましょう。
- お薬手帳と一緒に管理するようにしましょう。
- 分からないことがあれば、病院やかかりつけ薬局に確認しましょう。
- 本人の内服薬の知識や管理能力を確認するようにしましょう。